

◆ネットラーニング 2009年度春期試験 応用情報技術者試験 出題テーマ分類・分析

<総評>

今回の試験から、従来のソフトウェア開発技術者試験が応用情報技術者試験に衣替えして、出題にマネジメント系、ストラテジ系分野が加わりました。

午前問題では、新設分野の出題が大方の予想より難しくなく、eラーニングや問題集で過去問題をていねいに解答練習する学習をし、シスアドなど別試験のマネジメント系、ストラテジ系の既出問題をあわせて解いて準備された方にとっては、比較的確取組みやすかったと推測しています。

午後問題では、問1「マーケティング戦略の立案」[経営戦略]と問2「チェイン法(探索アルゴリズム)」[プログラミング]のどちらを選択するか、迷われた方も多いと推測しています。問3～問12(10問中5問 選択)では、従来のテクノロジ系に加えて、新分野からは、問3「SWOT分析」[戦略立案]、問10「営業支援システム開発プロジェクトの管理」[プロジェクトマネジメント]、問11「SLA (Service Level Agreement)」[ITサービスマネジメント]、問12「DB監査ツールを利用したシステム監査」[システム監査]を出題していました。

中にはいくつか解答が難しい設問がみうけられますが、受験された方の得意分野に基づいて問題を選択する余地がありましたので、午前同様に準備された方は、試験時間いっぱいを使って、しっかりした答案を作成できたと考えています。

※定番問題:過去の情報処理技術者試験で頻出の問題
 ※新傾向:今回の試験制度に照らした新しい問題 (問い方が新しい問題含む)

【午前問題】

系	問番号	解答	問題テーマ	定番問題	新傾向
テクノロジ系 (49問)	1	イ	回線利用率の計算		★
	2	ア	近似値計算ができる変数の値		★
	3	ウ	有限オートマトンが受理する入力列	★	
	4	イ	部分文字列の個数を表す式		
	5	ア	漸化式の解釈		
	6	イ	ハッシュ表におけるキーが衝突する条件		★
	7	ア	機能的に定義した関数のもどり値		
	8	イ	線形探索の平均比較回数		★
	9	ウ	1個の命令で同一の操作を同時並列に行う方式のCPUアーキテクチャ	★	
	10	ウ	外部割込みの要因	★	
	11	エ	メモリインタリーブの説明	★	
	12	エ	2ビットの誤り検出機能と1ビットの誤り訂正機能をもつメモリの誤り制御方式	★	
	13	ア	キャッシュメモリの方式		★
	14	ウ	クライアントサーバシステムにおける遠隔サーバ内の手続きを呼び出す機能	★	
	15	ア	サーバを仮想化によって統合したときの特徴		★
	16	エ	3台の装置X～Zを接続したシステムの稼働率の比較	★	
	17	イ	CPUの使用率と磁気ディスク装置の使用率の組合せ		★
	18	ア	スタック領域とヒープ領域に関する記述		★
	19	ウ	ページフォルトの発生回数の計算		★
	20	ウ	双方向リンクの特徴	★	
	21	イ	サーバの種類とオープンソフトウェアの組合せ		★
	22	ウ	SoC(System on a Chip)の説明		★
	23	ア	ウォッチドッグタイマの機能		★
	24	イ	同じ結果が得られる論理式		★
	25	ウ	Webページに「パンくずリスト」「topic path」「breadcrumbs list」などと呼ばれる情報を表示する目的		★
	26	イ	コード設計のうち最初に行う作業	★	
	27	ウ	適切な顧客購入分析表の作成		
	28	ア	MPEG-1の説明	★	
	29	イ	サンプリングしたデジタルデータの容量の計算	★	
	30	イ	3次元グラフィックス処理におけるクリッピングの説明		★
	31	ウ	クライアントサーバシステムにおけるストアブロージャに関する記述		★
	32	ウ	概念データモデルの解釈	★	
	33	イ	分散データベースシステムにおいて調停者が発行したコマンド		★
	34	イ	関係データベースの行を削除する際の適切な操作の組合せ		★

	35	イ	広帯域無線アクセス技術の特徴		★
	36	イ	IPネットワークにおけるIPアドレスの設定を正しく行っている端末の組合せ	★	
	37	ア	TCP/IPネットワーク上で、メールサーバから電子メールを取り出すプロトコル	★	
	38	ウ	SSLによるクライアントとWebサーバ間の通信手順		★
	39	イ	公開かぎ暗号方式における必要なかぎの個数を表す式	★	
	40	イ	ISMS適合性評価制度における情報セキュリティ基本方針に関する記述	★	
	41	ウ	情報ネットワークやサーバに対して、不正な行為に利用するために設置するもの	★	
	42	ウ	ディレクトリトラバーサル攻撃		★
	43	エ	ユースケースを利用したモデル化		★
	44	イ	新システムのモデル化を行う際のDFDの作成手順	★	
	45	ア	デザインレビューの目的	★	
	46	ウ	オブジェクト指向における特性を表す用語		★
	47	イ	結合テストで用いられるスタブの役割	★	
	48	イ	CMMIの開発モデルの目的		★
	49	エ	マッシュアップを利用してWebコンテンツを表示しているもの		★
マネジメント系 (11問)	50	ア	WBS(Work Breakdown Structure)を利用する効果		★
	51	エ	プロジェクトの日程計画におけるプロジェクトの所要日数	★	
	52	イ	開発プロジェクトの完了に必要な追加要員数の計算		
	53	イ	グラフの使い方		
	54	ア	教育技法の説明		★
	55	ア	SLAIに記載する内容	★	
	56	ア	システムの移行計画に関する記述		
	57	ウ	ソフトウェア開発・保守工程においてリポジトリを構築する	★	
	58	イ	ヒアリングに関するシステム監査人の行為		★
	59	イ	情報システムの完全性のコントロールに関する監査証跡	★	
60	ア	コンピュータセキュリティのリスク対策のうち、リスクの保有に該当するもの		★	
ストラテジ系 (20問)	61	イ	共通フレーム2007による企画プロセスにおけるシステム化構想立案の前提になるもの		★
	62	ア	「システム管理基準」における全体最適化計画策定の段階で業務モデルを定義する目的		★
	63	ウ	業務活動分析における削減時間の計算		
	64	エ	ERPパッケージを導入して、基幹業務システムを再構築する場合の留意点		★
	65	ア	共通フレーム2007におけるシステム化計画立案時の考慮点		★
	66	イ	提案依頼書を作成するために必要な情報の提供を依頼するもの		★
	67	イ	マトリックス表を用いたポートフォリオ類型による、事業計画や競争優位性の分析を行う目的		★
	68	イ	SWOT分析の説明		★
	69	ア	サプライチェーンマネジメントの説明		★
	70	ウ	TLO(Technology Licensing Organization)法に基づく事業者の役割		★
	71	イ	正味所要量の計算		
	72	ア	合計段取り時間の計算		
	73	エ	EDIを実現するための情報表現規約で規定されるもの	★	
	74	エ	組込みシステムの用途		★
	75	ウ	企業活動におけるBCPの説明		★
76	ウ	ゲーム理論を使って検討するのに適している業務		★	
77	エ	損益分岐点の計算	★		
78	ウ	不正競争防止法における営業秘密となる要件	★		
79	イ	請負契約の下で自己の雇用する労働者を契約先の事業所などで働かせる場合の説明	★		
80	イ	圧縮された情報を伸張しても、完全には元の情報に復元できない場合がある圧縮方式	★		

【午後問題】 ※出題問題冒頭に記載のとおり

出題分野	問番号	解答	問題テーマ	
※問1～問2は2問中1問選択				
経営戦略	1	6/16に 公式 発表 予定	マーケティング戦略の立案	
プログラミング	2		チェイン法(探索アルゴリズムであるハッシュ法の一つ)	
問3～問12 (10問中5問選択)				
戦略立案・コンサルティングの技法	3		SWOT分析	
システムアーキテクチャ	4		災害復旧対策(ディザスタリカバリ)	
ネットワーク	5		DHCPの利用	
データベース	6		注文管理システムの設計と実装	
組み込みシステム開発	7		携帯端末の省電力	
情報システム開発	8		通信販売用のWebサイトの設計	
情報セキュリティ	9		ファイアウォールの設定	
プロジェクトマネジメント	10		営業支援システム開発プロジェクトの管理	
ITサービスマネジメント	11		SLA(Service Level Agreement)	
システム監査	12	DB監査ツールを利用したシステム監査		